

農業

7月から9月は夏の熱中症等
声かけ期間です！

①「いのちをうばう、夏のひとり作業」

農作業中の熱中症などによる死亡者が急増しています。このうち、約85%が7月から8月に発生しており、非常に熱中症リスクが高くなっています。熱中症事故は、周りの人がお互いに気を配り、声を掛け合うことで、防げる可能性があります。

●声掛け活動のポイント

・家族で作業前後だけでなく、作業中も小まめなコミュニケーションを「水分、持った？」体調が悪くなったら、すぐに連絡して」
・職場でその日の体調や暑さに応じて柔軟な声掛けを

「顔色悪いよ、休憩しよう」「WB GT値（暑さ指数）が高いから、昼は作業を中断しよう」

・地域全体で顔を合わせたら、まず一声声掛けを

「今日は熱中症警戒アラートが出ているよ」「夏は疲れやすいから、高い所に気を付けて」

●熱中症対策の3つのポイント

①温度やWB GT値を見て作業を考えよう

・暑さに応じて作業内容を調整する。
・重い作業は朝夕の時間帯にずらす、

または休憩や給水の回数を増やす。

②小まめに休憩を取ろう

・20分置きを目安に休憩する。
・休憩時には水分・塩分補給を行う。
・日陰や冷房のある場所で体を冷やす。

③もしものときの応急処理

・異常を感じたらすぐ作業を中断し、涼しい場所で衣類を緩めて身体を冷やす。

・意識がもうろうとしている・返答がおかしい場合は、直ちに119（または#7119）にかける。

農業は一人作業が多く、熱中症になった際に自分では症状を自覚しにくいことから、重篤化しやすい傾向にあります。また、高温の日は疲れなどにより、高所から転落するなどの事故が起きやすいので注意が必要です。

●どうしても一人作業を避けられない場合は…

・携帯で家族などと30分置きに連絡を取り合う。

・危険な状態をアラートで伝えるウェアラブル端末を着用する。

※暑さ対策にはスマート農業技術や農業支援サービス事業者の活用も有効です。

一人一人の「大丈夫？」が命を守ります。この夏は熱中症による死亡者0を目指しましょう。

問 産業課（金屋庁舎）

乳幼児を子育て中の皆さまへ
子育て支援センターは
皆さまの子育てを応援します！

臨床心理士・スクールカウンセラーの先生による
～元気になる子育て応援～

- 日時／7月29日（水）10:15～11:15
- 場所／子育て支援センター
- 定員／10組程度
- 参加費／無料
- 講師／林民和 先生
- 申し込み／7月1日（水）8:30～

開設日時など		
あそびのひろば	金曜日（7月10日・17日・24日・31日）	10:15～11:15
	※予約制。 詳細は予定表でご確認ください。	13:45～14:45

※実施状況や毎日の予定表などは、町ホームページでもお知らせしています。

子育て支援センターでは、一時預かり保育を行っています。
詳しくは町ホームページをご覧ください。
お気軽にお問い合わせください。

子育て支援センター ☎ 52-5474（ファクス兼用）

